

JTA・琉大生
「ちゅらちゅらピアス」など発表
宮古テーマに機内販売商品選定



JTAの機内販売商品やWEBページを発表する琉大学生ら=24日、那覇市のJTA本社

【那覇支社】日本トラン 光産業科学部（下地芳郎学
スオーシャン航空JTA、部長）は24日、那覇市で会
丸川潔社長）と琉球大学視 見を開き、同学部の学生た

ちが宮古島をテーマに選定
した機内販売商品などを発
表した。白蝶貝やピンク
シェルを使った「ちゅら
ちゅらピアス」や、宮古を
アピールする観光ホーム
ページが報告された。9月
から機内販売とホームペー
ジの公開を始める。
JTAと琉大観光産業科
学部は、今年3月に包括連
携協定を締結した。その一
環として、同大は「JTA
×琉球大学 インター
シップ特別コース」を4月
に開講。受講する学生らは、
通常の職業体験のほか、自
ら企画・立案して販売商品
の検討や情報発信にも取り
組んでいる。
会見では、同大3年の二
階堂美南さんが、「ちゅら
ちゅらピアス」の選定過程

も発表した。二階堂さんら
は、県内外の女性約170
人を対象にしたアンケート
調査や宮古島での商品リ
サーチを実施。まず、候補
商品を宮古みそドレッシング
グやマンゴージュース、
キーホルダーなど7点に絞
り込んだ。そして、最終的
に総合評価で天然貝のピア

スを販売商品に選んだとい
う。
一方、大濱里穂さんと仲
村梨裕斗さんは、JTAが
運営する観光情報のホーム
ページ「美ら島物語」の製
作企画を紹介した。大濱さ
んらは、テーマを「若年層
へ宮古島の魅力を発信す
る」と設定し、沖縄・離島

ファンに喜ばれ役立つもの
にすると位置付けた。
県外学生の沖縄旅行への
意識調査や若者が好む旅行
サイトの分析結果などが
ら、宮古島をMAP化して
見やすくしたほか、記事を
ジャンル別に検索可能にす
るなど、利便性も工夫した。
このほか、県外の人でも分

かるキーワードや女子旅を
連想させる写真など、観光
客に魅力ある情報発信を目
指している。
JTAの内閣康貴取締役
は「地域貢献型の地元企業
としての思いから、今回
の提携企画となった。沖
組の学生には観光業界に
もっと興味を持ってほし

い。引き続き沖縄の人
育成に協力していきたい
と述べた。

8/25

宮古毎日新聞 11面